

## 令和4年度 第2回生駒市社会教育委員会議録（要約筆記）

1 日時 令和4年11月15日（火）午前10時～午前11時45分

2 場所 生駒市役所 大会議室

3 出席者

（委員）大谷裕美子委員（議長）・吉川祐一委員（副議長）・岩本博子委員・  
浦林直子委員・岡島保弘委員・岡本純子委員・上武敏一委員・  
神田貴司委員・清水泰之委員・中嶋宏明委員・松尾正則委員・連靖和委員

（事務局）八重生涯学習部長・清水生涯学習課長・井川生涯学習課課長補佐・西野図書館  
長・錦図書館課長兼北分館長・谷江図書館南分館長・入井駅前図書室室長・  
西スポーツ振興課長・和田生涯学習課主幹兼生涯学習係長・須田生涯学習課主  
任

（欠席者）大辻哲男委員・土本みさ子委員

（会議の公開・非公開） 公開

（傍聴者）なし

4 議事内容

（1）近畿地区社会教育研究大会奈良大会（9月2日開催）の振り返り

参加した各委員からの報告

（2）各委員の活動等についての情報共有

力を入れていること、共有したいこと、やりがいの3点に沿って各委員から発表

（3）その他

■（1）近畿地区社会教育研究大会奈良大会（9月2日開催）の振り返り

清水委員 全体会での知事のあいさつに感動した。第1分科会は滋賀県の発表だ  
った。準備が足りていない印象を受けた。私は「挨拶の忘れ物」とい  
う内容で発言した。

大谷委員 第3分科会に参加した。和歌山県によるコミュニティスクールに対す  
る取組についての発表だった。コロナが少しあけてきたので、子ども  
たちの意見を聞きながら地域と色々連携をしていきたいとのことだっ  
た。折角の機会なのに意見交換が充分にはできなかったことが残念。

- 上武委員 第2分科会に参加した。非常にいい内容で参考になった。前例や手本、答えのない時代の地域づくりについての発表で、特に、人口減少を一番の問題とした意見交換であった。UターンやIターンで世代交代できているところは人口が増えているということだった。女性の発想力やネットワークを生かしたり、女性のポストを増やしたり、若い人に参加してもらったりすることで、UターンやIターンの人たちに活躍してもらおうという意見があった。
- 松尾委員 上武委員と同じ第2分科会に参加した。上武委員の報告以外では、発表者である京丹後市久美浜町担当者のように、社会教育者は「みなさんのお陰」という気持ちでないといけないと感じた。また、発表者のまとめから、地域の分析力とか改革力、実行力が必要だと感じた。
- 岡島委員 第4分科会、「学校・家庭・地域の協働」に参加した。協働していかなくてはいけない部分が沢山あると感じている。今後はもっと若い世代の意見も聞きながら社会教育の取組を進めていく必要があるのではないかと感じている。研究大会を通じてできた輪を今後どのように発展させていくかについても考えさせられた。
- 神田委員 同じく第4分科会、コミュニティスクールをつくる取組についてという兵庫県加東市の発表に参加した。これまで地域で放課後にこのような取組があることをあまり知らなかったが、他の自治体の方からも積極的な質問や自身の地域の取組紹介など活発な意見交換がなされ、大変勉強になった。
- 連 委員 私も第4分科会に参加した。私は学童保育に関わっているので私の仕事そのものだと感じた。ただ、地域によって違いがある。生駒市は学校ごとに学童保育があり、そこに地域の色々な団体関わっている。生駒市も人口増加が横ばいになっているが、生駒に住み続けて子どもを育ててもらうためには、子どもたちが生駒に住んでよかったと思えるよう、子ども時代の体験を大事にしたいと思う。そのためにも、若

い方に、より積極的に参加してもらい、親と子どもたちの考えを聞きながら取組に反映させていければと思う。

岩本委員 第5分科会「人権教育」に参加した。外国人の子育てママの居場所づくりということで、「おやこでにほんご」という取組の発表があった。ママ友作りの場にもなっている。広報の仕方や開催場所で苦労されていることに共感した。県内からは日本語広場の企画についての紹介や、各地からも意見が出され、活発な分科会であった。また、分科会で照会されていた「月刊社会教育」という冊子に興味を持った。研究大会を運営する大変さを経験しているが、昼食場所の案内やサポートも丁寧に行われており、うまく運営されていると感じた。

事務局 同じく第5分科会に参加。豊中市から、外国人ママの居場所づくりをテーマとした発表があった。活動場所は図書館であるが、会場からはすぐに場所を借りることができたのかといった質問があった。お母さんが元気だと子どもも元気になるというお話が印象に残っている。

## ■（2）各委員の活動等についての情報共有

岩本委員 保育園や保育会の活動報告。保護者の安心も含め、就学前の子どもたちの育ちを見守っている。みなさんには、子育て家庭で悩みを持っている方と保育園を繋ぐパイプ役になっていただけたらと思う。昨今、保育園等での園児の痛ましいニュースが報じられているが、安全の園づくりのためには、ICTの機能も必要であるが、やはり人材が必要であることを感じている。

浦林委員 ボランティア活動等社会教育にかかわる経歴紹介。さまざまな活動を通してまちづくりや教育を中心に関わってきた。現在の生駒市社会教育委員会議は実質的な取組が少なく、これまで委員間の横の連携もあまりなかったように感じる。他の地域ではさまざまな活動が行われている。社会教育委員会議が主体的な組織として動くために、生駒市の

目指す市民像を協議してまちづくりに活かしていけたらと思う。

- 岡島委員 代表を務める家庭教育支援チーム「たけのこ」の活動紹介。「たけのこ」が、みなさんと地域づくりをしていく1つの拠点となることに力を入れ取り組んでいる。イベントでの子どもたちの笑顔や、保護者が問題を解決されたときの笑顔、また、メンバーで意見を出し合いながら1つのものを創り上げ、やり遂げる達成感がやりがいになっている。
- 岡本委員 生駒市子どもの本連絡会の経緯と活動紹介。子どもたちに読書の楽しさを伝え、読書環境の充実をめざす会。活動を通して子どもたちから得られる笑顔が力になる。小学校の活動では保護者の交流や、保護者に子どもたちの笑顔を見てもらえることがやりがいになっている。
- 上武委員 商工会議所の概要と生駒商工会議所独自の取組紹介。地域振興ということで、アンテナショップおちやせんの運営や生駒山麓太鼓の活動なども行っている。力を入れたいことは商工会議所を通じた地元の商売の発展や事業内容の新規起こしや改善。色々な意見を持つ会員と問題を乗り越えた時にやりがいを感じる。
- 神田委員 生駒市PTA協議会の活動紹介。PTA活動での困りごとやより良い活動に向けた意見交換を行っている。現在、3年ぶりに開催する11月のPTA主催親子イベントと2月開催予定のPTA研究大会に向け、話し合いや準備を行っているところである。
- 清水委員 やまびこネットワークの活動紹介。「行政に頼る前に自分たちでできることは自分たちで」「地域の特性や実態を生かした自立したまちづくりは自分たちでやろう」というのが始まり。先に組織を作るのではなく、まずは一人ひとりの願いや感動を大切にしながら場を広げていく。その広がりが共感となって組織化されたときに事業として初めてやっていくことを基本としている。先に組織を作るのではなく、子どもの願いや地域の願いから出発していることが特徴。
- 中嶋委員 生駒市芸能協会の現状報告。伝統芸能を日本人の記憶の中につなげて

いくことが必要。その他、「たけのこ」や「やまびこネットワーク」の活動にも参加し、地域との関わりを持たせていただいている。活動の中で「ありがとう」「楽しい」といってもらうことがやりがいにつながっている。

松尾委員 南地区自治連合会長として3年ぶりの南地区自治連合会大運動会が開催できたことを本当にありがたく思う。地元の自治会では、荒地だった田を開拓してワクワク農園を昨年から運営し、立派な農園ができています。収穫祭などのイベント時には沢山人が集まってくれて、やりがいを感じる。市内のあちこちにある休耕田をうまく活用していく方法はないかを考えている。

連 委員 生駒市子ども会育成連絡協議会での活動を行う中で、役員への敬遠から子ども会へ加入しない現状を憂慮している。活動が活発な子ども会は自治会や老人会との交流がある。地域に支えられてこそ子ども会があると感じる。ジュニアリーダーとあすなろ会の活動を通して、子どもたちに優しい心を持ってもらうことに力を入れている。人間として大切なことは「優しさ」。大人になって許容範囲を大きくしていくことが人間形成にとって大事ではないかと思う。

吉川副議長 中学校の校長として現在3校目であるが、私は入学式で「中学校は大人になるための場所」だということ、卒業式では、「優しい心を持つことが本当の大人である」ことを伝えている。多様性を認められる、人の心に寄り添えることが大事。課題を抱えている子どもたちもたくさんいるが、大人になったときに社会の中で生きていける何かヒントを持って社会に出てほしいという思いで教育活動をしている。子どもたちの「学校生活で〇〇が好きになった」という言葉が教員にとっては一番のやりがいにつながっている。

■ (3) その他

○教育委員との意見交換会の開催について（事務局から説明）

日 時 令和4年12月26日（月）午後1時30分～午後3時頃

場 所 生駒市コミュニティセンター

テーマ 「生駒市でどのような子どもたちを育てていきたいか」

（話題の例）

- ・コミュニティスクールについて
- ・地域・学校(園)・家庭の連携について
- ・多様な経験ができる機会づくりについて
- ・その他、活動を通して感じている課題について

○今後の事業案内（各担当課から）

生涯学習課→図書館→スポーツ振興課の順に、開催予定の事業について説明

○「二十歳のつどい」の開催について（事務局から説明）

閉 会